

一般質問

川下
議員

○不妊治療保険適用と市の今後の取り組みについて

質 不妊治療の実態を共有することで市民の理解と協力、温かみのある支えができることを期待して質問する。本年4月より保険適用となり窓口での負担が軽減される。これにより不妊治療に臨みやすい環境ができたと考える。その一方で、情報が市の把握が難しいため、市としての状況がいかかがか。

子育て・こども課長

これまでの助成の申請により市民の実態を把握していたことから、保険適用後は現状の把握が厳しくなると思われます。治療を希望される方にとっては、一般的な医療機関での手続きのみによって治療に係る費用負担も軽減され、これまで以上に治療が受けやすく、治療を必要とする方に配慮した環境が整備されたものと考えてはいます。

質 不妊治療を経験された方によれば高額な費用や治療による体調の変化、さまざまな要因による精神的な心労が大きいと聞く。このような方たちをフォローする市の窓口がこれからの必要と考えるが市の考えは。

子育て・こども課長

不妊の相談については、専門的な知識がなければ対応が難しく、厳しい治療を乗り越える心身の負担を支えることは容易ではないと考えています。不妊の相談については、県北保健所が窓口を設置しており、県では長崎県妊活LINEサポート事業を実施しています。不妊症看護認定看護師や臨床心理士などの専門家チームが相談内容を分析して相談者に最適な妊活のアドバイスを行っています。市では、それらの情報を提供し、関係機関へつなぐ役割を継続していきたいと考えています。

質 不妊治療助成金としての予算の継続を求める。不妊の要因は女性に限ったことではないこと、パートナーの理解と協力が必要であること、何気ない一言が当事者を苦しめることなど、当事者だけでなく全市民が理解しておく内容は多い。それらを啓発するためのイベント開催費用や、より相談しやすい環境整備のための予算として継続を求める。

市長

市としては、経済的負担だけでなく、精神的なケアや仕事との両立を支援するなど、社会全体が不妊治療に対する理解を深め、子どもを持つことを支えられる仕組みについても取り組んでいくべきだと考えています。今後、実態を確認した上で不妊治療に対する必要な対応について、議員のご提案も踏まえた上で検討していきたいと考えています。

一般質問

武部
議員

○松浦党梶谷城跡や鷹島神崎遺跡、モンゴル村の歴史を活用した地域振興策について

質 元寇と松浦党梶谷城跡、鷹島神崎遺跡、モンゴル村をテーマにして鷹島の食、マグロ、トラフグなどの海の幸の魅力を松浦市の観光の柱として、今秋本製いかりの引き揚げ、将来には沈没船を引き揚げ展示公開・活用できる施設を整備し活性化につなげようと国や県に要望書を提出、7月下旬には長崎県議会文教厚生委員会の委員が現地視察の予定となり、陳情の成果が見えてきました。松浦市としての見解をお願いします。

地域経済活性化課長

歴史と観光資源を有効に活用し、地域の活性化につなげていくことは、観光施策の重要な視点だと考えています。元寇や松浦党に伝わる人物や元寇にまつわる歴史資源と、トラフグ、クロマグロ、アジフライなどの食の観光資源を生かし、鷹島地域ならではの歴史とグルメを融合させたストーリー性のある観光コンテンツを造成し、誘客を図ることが必要であると考えています。今後は、インバウンド観光の受け入れも視野に入れながら、松

○松浦市防災課女性職員配置ゼロの実態について

質 松浦市防災課に女性職員がいないことについて、大雨洪水、台風、地滑り地震などの災害時における避難の際、避難所運営や備蓄など災害対応に女性の視点が必要と思うが、防災課長の見解をお願いします。

防災課長

災害が発生し、または災害が発生するおそれがある場合に設置する災害対策本部の構成員には、女性職員も含まれており、令和2年度の台風10号にかかる避難所運営に対する総括会議においても、本部女性職員からの意見も取り入れ、女性に配慮した運営改善も進めています。女性の視点が加わることで必要な防災対策がより進みやすくなると思われ、今後とも災害対策本部員の女性職員の意見を積極的に反映し、避難所運営および備蓄品の充実を図っていききたいと考えています。